

ICTを無理なく使いこなす!

E122-1 [45min]

ICTを活用した Communication English

授業の進め方から
教材づくりのヒントまで

KeynoteやLaunchPadを活用したCommunication English Iでの授業の流れと、
色々なアプリを使って、出来るだけ簡単に教材を作る工夫について紹介しています。

- はじめに
 - Introduction (渡部先生の自己紹介) / ICT教室導入の変化 / Introduce with each other (1 min. each)
 - My Classes with ICT Devices
 - <Communication English I>
 - Oral Introduction ○ New Words (with LaunchPad)
 - E Repeat (英語) Translation (日本語を見て英語) / パバイヤージュス
 - 本文 Repeating
 - Synchronized Reading / Obstacle Reading
 - Retelling
- おわりに
 - ICT機器で使用する教材(素材)づくりのヒント

授業者

渡部 正実

岐阜県立加茂高等学校



ライブ!英語教育・達人セミナー in 名古屋

アクティブ・ラーニングにつながる授業実践例

このDVDは、2016年10月に名古屋で行われた「英語教育達人セミナー」での発表を収録したもので、
2名の先生による特徴のある授業実践例がご覧いただけます。いずれの実践例でもアクティブ・ラーニングが取り入れられており、
このことで生徒の学びの幅が広がり、21世紀の知識基盤型社会に対応する能力が育まれていきます。

協力/英語教育・達人セミナー
全2巻 10,000円+税
各巻 5,000円+税 (送料別)

商品番号 E122-S



ジグソー法を取り入れた協働学習とは?

E122-2 [57min]

ICEモデルとジグソー法で アクティブ化

| 普通高校コミュニケーション英語の授業

第2巻では、大阪府立鳳高等学校での「アクティブ・ラーニング」による協働学習と
4技能の伸長を目指した「フェニックスプロジェクト」の取り組み、
ICEモデルとジグソー法を用いた授業実践例について取り上げています。

- アクティブ・ラーニングを推進する「フェニックスプロジェクト」
- ジグソー法を用いた授業の流れ
 - Things you do (活動内容の確認) ○ リスニングで屋久島の基本情報を表にメモする
 - Expert group activity
 - Keyword (必要な情報を表に記入) / Presentation (エキスパートグループ内で発表練習)
 - Jigsaw group activity
 - Information Sharing (それぞれの場所の情報を写真とメモを見て伝え合う)
 - Discussion ホワイトボードを使って
(一番のお勧めスポットを決定する / 場所の説明+理由を語れるようにする)
 - Presentation (ジグソーグループ内で発表練習)
 - Expert group activity
 - Presentation (エキスパートグループで発表)
- おわりに

授業者

溝畑 保之

大阪府立学校指導教諭
大阪府立鳳高等学校

